

2. 本市の概況と各種計画

2-1. 本市の概況

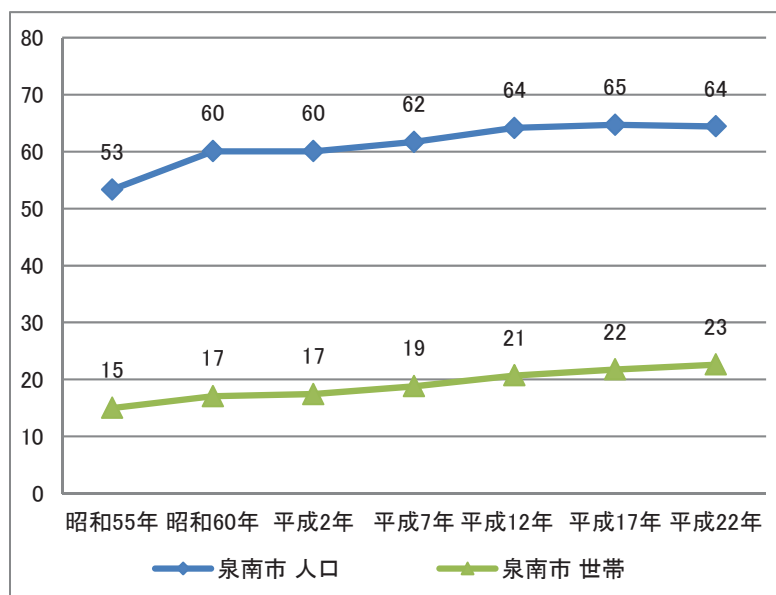
(1) 人口・世帯数

本市の平成 22 年人口は約 6 万 4 千人と、昭和 55 年の約 5 万 3 千人と比較すると約 20%増加していますが、平成 17 年をピークに減少傾向に転じています。

世帯数は、平成 22 年で約 2 万 3 千世帯と昭和 55 年の約 1 万 5 千世帯から約 50%増加しています。

図表 1 人口・世帯数の推移（泉南市）

（単位：千人・千世帯）

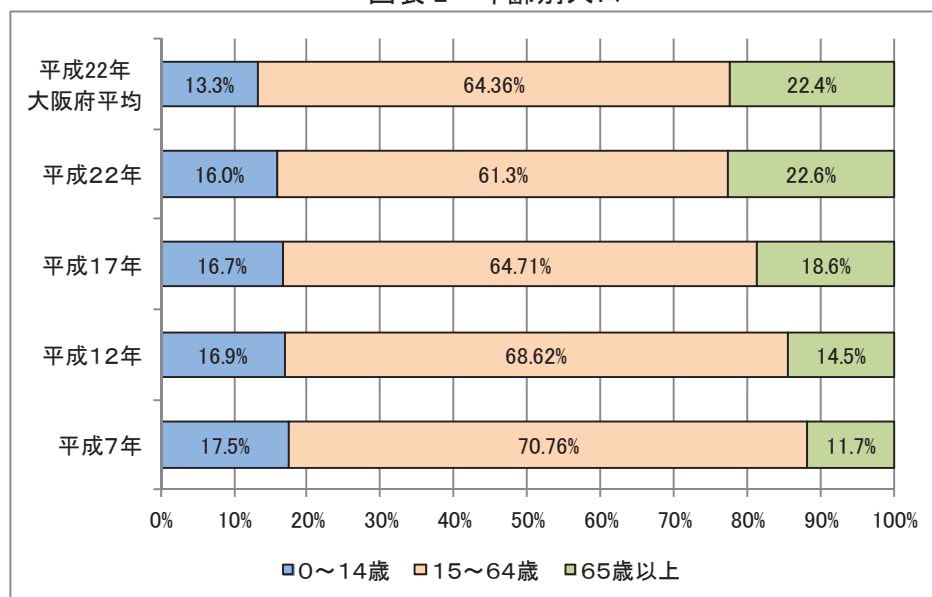


資料：国勢調査

(2) 年齢別人口と高齢化率

年齢別人口を3階級別にみると、平成7年に65歳以上人口が7,237人であったのが、平成22年には14,566人と約2倍に増加し高齢化率は11.7%から22.6%となっています。逆に0～14歳の年少人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。

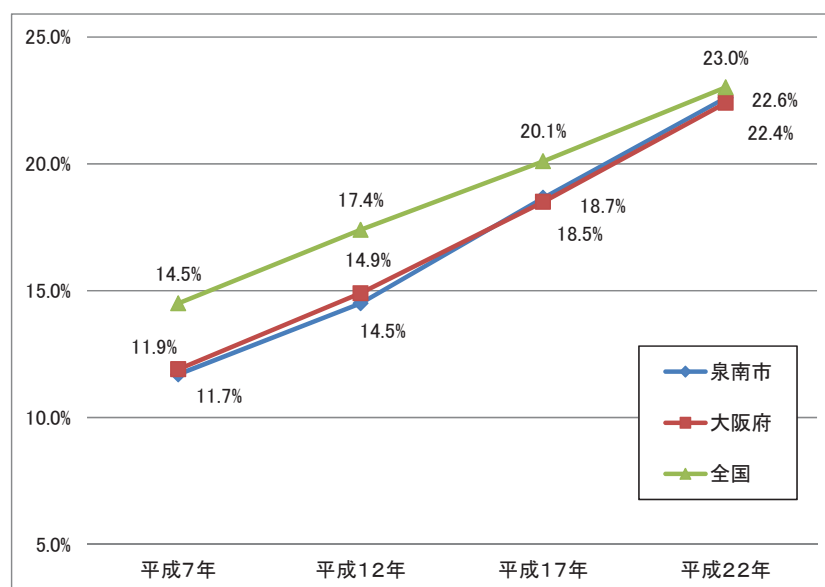
図表2 年齢別人口



資料：国勢調査

また、高齢者の推移を大阪府、全国値と比較すると概ね同様の率で推移しており高齢化が着実に進行しています。

図表3 高齢化率の推移の比較

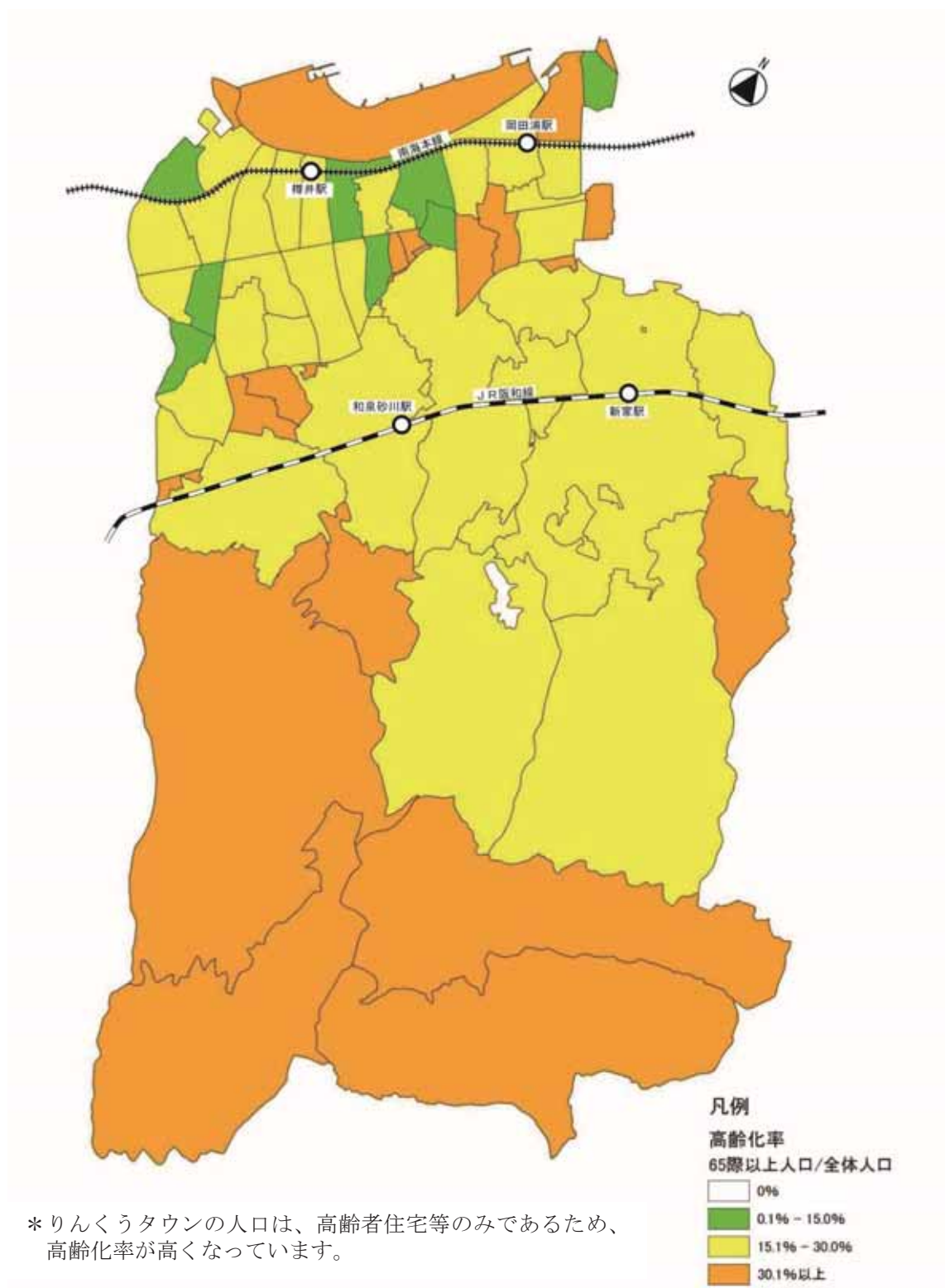


資料：国勢調査

(3) 地区別高齢化率

一方、地区別の高齢化率をみると、高齢化率が30%以上の地区は、市の南側山間部に多くなっています。北部では、幡代3丁目、鳴滝1丁目・2丁目、中小路1丁目・2丁目、高齢化率が30%以上となっています。

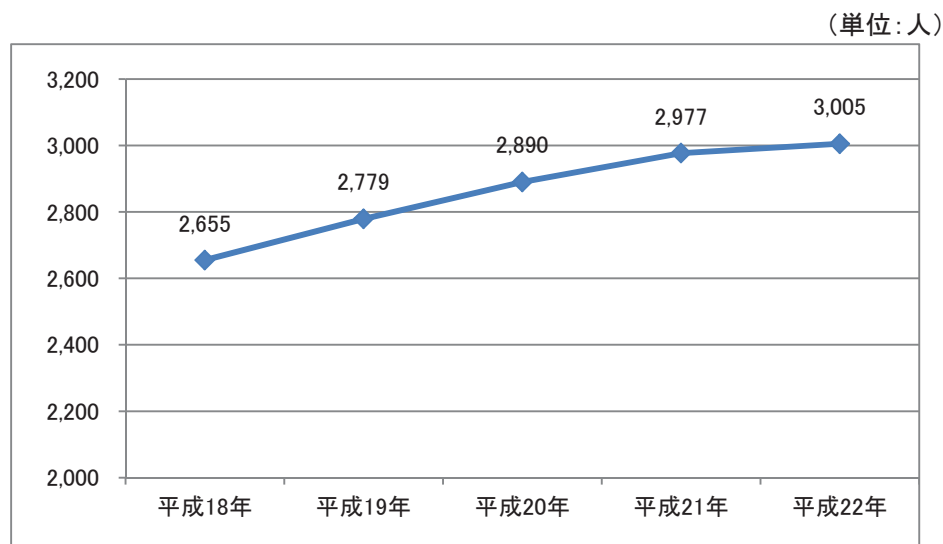
図表4 地区別高齢化率



(4) 障害者等の状況

平成 22 年における身体障害者手帳所持者数は 3,005 人であり、総人口の約 4.7%となっています。また、平成 18 年以降毎年増加しています。

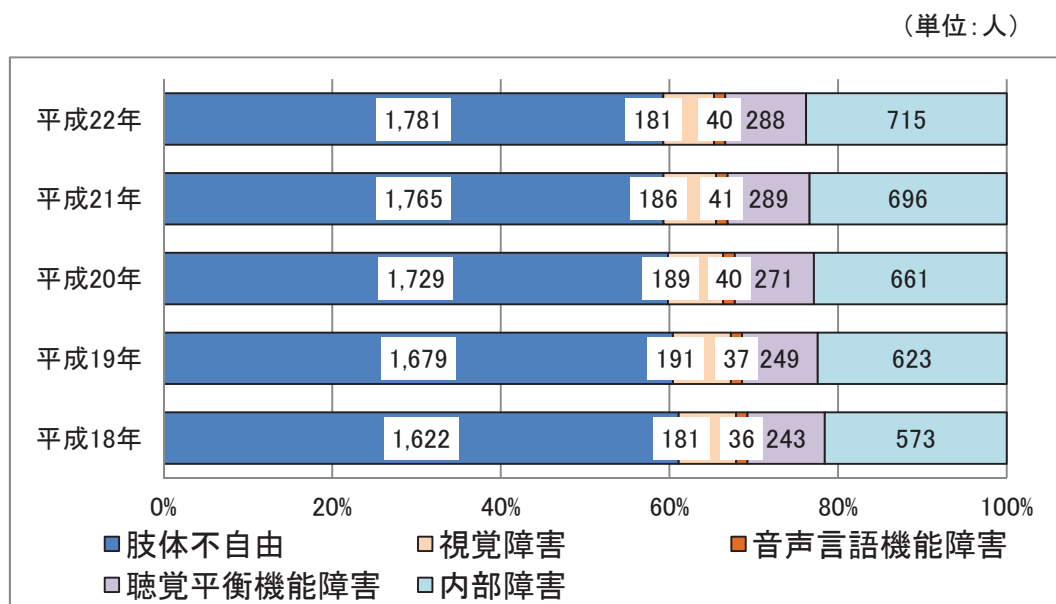
図表 5 身体障害者手帳所持者数とその推移



資料：泉南市統計書（平成 23 年版）健康福祉部高齢障害介護課

平成 22 年の身体障害者手帳所持者の障害の内訳をみると、肢体不自由者が最も多く約 6 割を占め、次いで内部障害が約 2 割、聴覚平衡機能障害、視覚障害、音声言語機能障害となっています。

図表 6 身体障害者手帳所持者数とその推移(障害別)



資料：泉南市統計書（平成 23 年版）健康福祉部高齢障害介護課

(5) 交通の状況

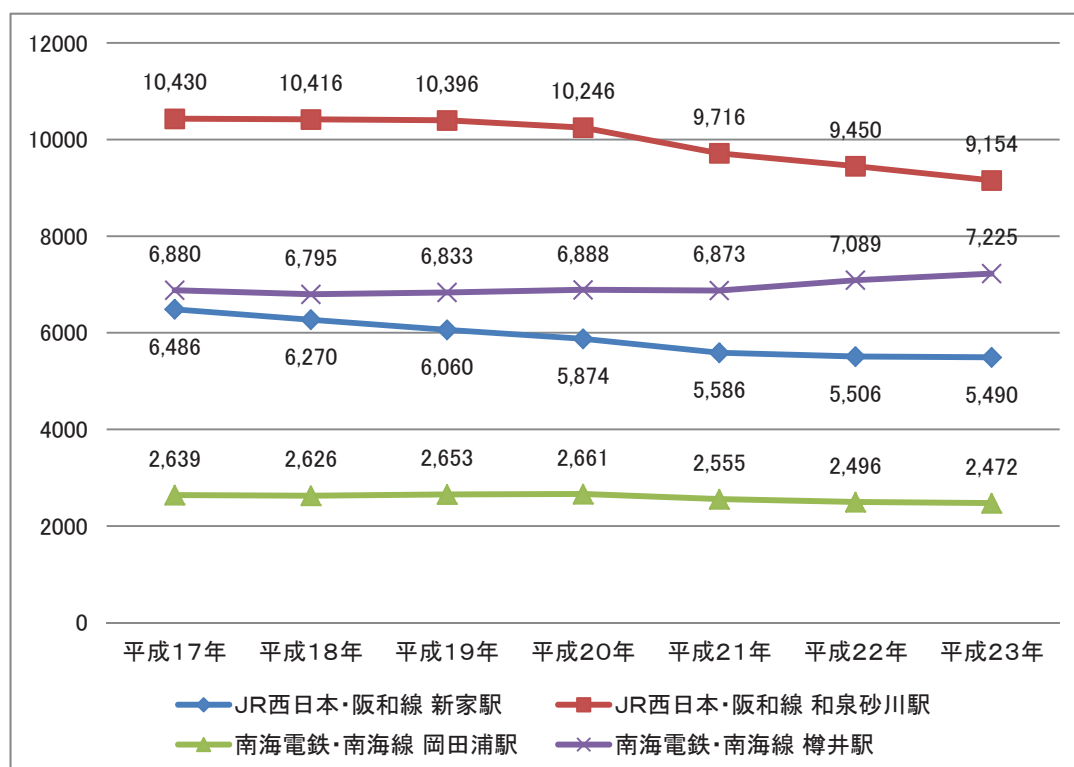
① 鉄道交通の状況

市内には、大阪都心部と和歌山を結ぶ、ＪＲ阪和線と南海本線の２路線が市内中央部から北西側に通っており、ＪＲ阪和線には和泉砂川駅、新家駅の２駅、南海本線には樽井駅、岡田浦駅の２駅、合計４駅が市内に位置します。

それぞれの駅乗降客の平成１７年からの推移をみると、ＪＲ各駅は減少していますが、南海各駅は横ばいまたは増加傾向にあります。特に樽井駅では約３５０人増加しており、近年は増加傾向にあります。

図表７ 鉄道駅の乗降客数の推移(１日平均)

(単位:人)



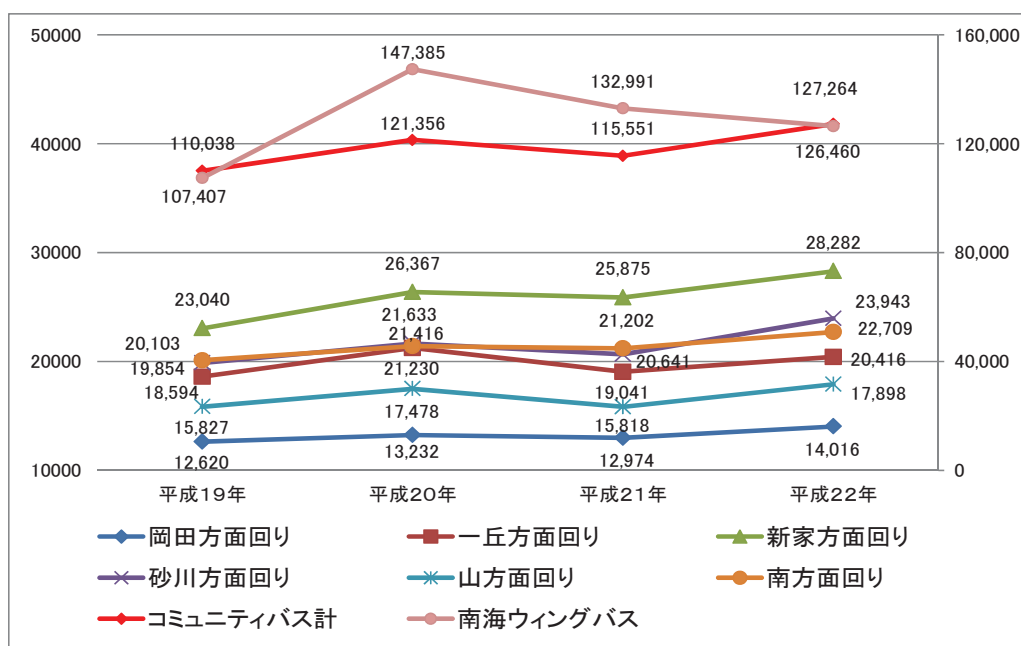
資料:大阪府統計年鑑→西日本旅客鉄道(株)和歌山支店、南海電気鉄道(株)

②バスの状況

市内にはコミュニティバス（さわやかバス）と南海ウイングバスが運行（一部区間和歌山那賀バスが運行）しており、平成 22 年の各運行バスの乗車人員は、コミュニティバスで 127,264 人、南海バスで 126,460 人が利用しています。

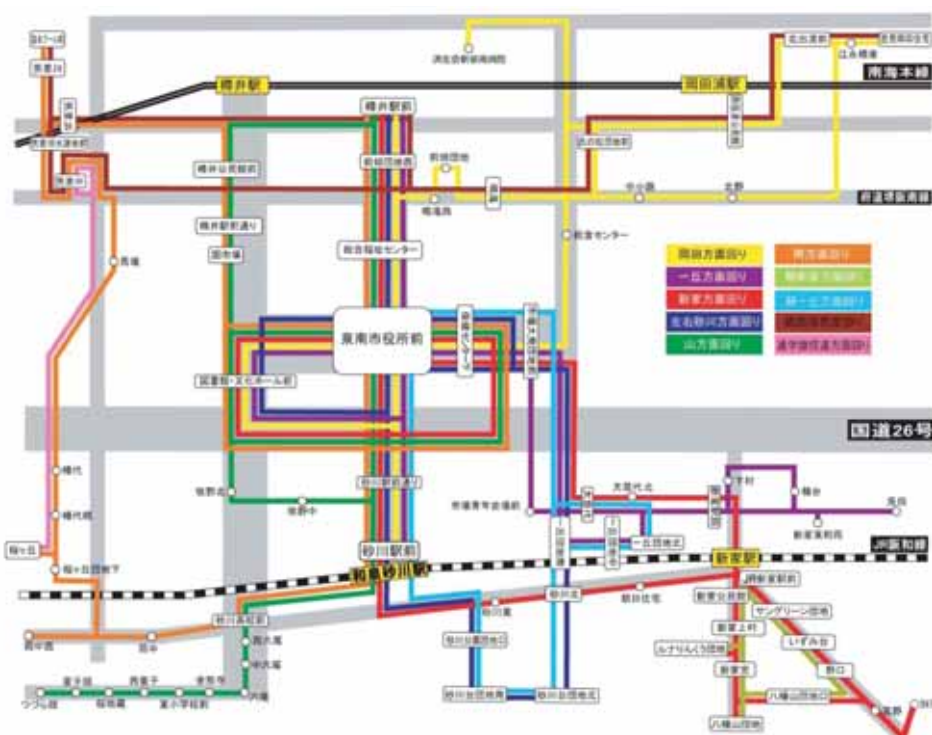
コミュニティバスは近年利用率が上がっていますが、南海バスは平成 20 年をピークに減少しています。

図表 14 コミュニティバス(さわやかバス)運輸状況（系統別乗車人員）



資料：泉南市統計書（平成 23 年版）市民生活環境部環境整備課、南海ウイングバス南部（株）

図表 15 コミュニティバス(さわやかバス)路線図



2－2．上位計画・関連計画

本市では、総合計画をはじめ様々な計画を策定しています。バリアフリー基本構想を策定するに際し、本市の上位計画と関連計画を簡単にまとめると以下の通りとなります。

①第5次泉南市総合計画（素案） 第3部基本計画：平成24年11月

「みんなで支えあう福祉のまちをめざします」

○障害福祉の充実（生活環境の充実）

障害のある人をはじめ、すべての人が快適に暮らせるよう、住宅や公共公益施設、交通機関のバリアフリー化など環境整備を進めます。

「活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします」

○道路の整備

○バスの利用促進

○市営住宅の整備

○市街地整備の推進

市の玄関口であるＪＲ和泉砂川駅周辺について、交通処理機能の強化、公共交通機関との円滑な接続、バリアフリー化への対応などを図り、だれにもやさしく快適な交通結節点としての機能を充実します。また、その他の鉄道駅周辺についても、だれもが安全に安心して利用できる環境の形成促進を図ります。

（和泉砂川駅周辺整備）

ＪＲ和泉砂川駅周辺について、交通結節機能の向上のための駅前広場の新設や高齢社会に対応した道路などの公共施設の整備を図るとともに、空閑地の高度利用と商店街の活性化を誘導します。

（鉄道駅舎のバリアフリー化）

南海樽井駅とＪＲ新家駅について、駅の改札口から各プラットフォームまでを結ぶ経路をバリアフリー化するとともに、この経路と駅構内の施設・設備が一体的に利用できるようにバリアフリー化を推進します。

②泉南市都市計画に関する基本方針(都市計画マスタープラン):平成11年2月

<都市計画の基本理念>

将来像:交流とみどりを育む臨空都市・泉南

—世界との交流、産業、文化の交流を形成し、みどりを育む住みよい臨空都市—

基本理念1:活力と交流のある臨空都市の形成

基本理念2:地域の特性をいかした快適な生活空間の創造

基本理念3:自然と歴史を大切にし、水と緑をいかしたまちづくり

<交通体系の整備方針> (抜粋)

1)道路網 — 歩行者空間の整備 —

- ・歩行者の安全性を確保するため、十分な幅員をもった歩道の設置をすすめる。
- ・歩道は段差の解消等をはかり、高齢者や障害者等にも配慮した空間とする。

2)公共交通網

①鉄道交通

列車運転本数の増加等を関係機関にはたらきかけていく。

②バス交通

市域の各拠点と住宅地とを有機的に結ぶバス路線の充実と運転本数の増加を関係機関にはたらきかけ、バス輸送力の強化につとめる。

3)その他交通施設 — 駅前広場等 —

J R 和泉砂川と南海樽井駅については、駅南側と北側各々の機能分担をはかった駅前広場や交通広場の整備をはかる。

J R 新家駅は、駅周辺の交通の円滑化をはかるため駅前広場や交通広場の整備を検討する。

<福祉関連の整備方針> (抜粋)

1)生活利便施設の整備

高齢者や障害者等の社会参加や、自立した生活を促す観点から、官公庁舎、物販店、金融機関、医療施設等の生活利便施設の整備、改善を進める。

2)移動しやすいまちづくり

安全かつ円滑に移動するための、公共交通網の整備、十分な幅員確保と歩道の連続的有機的な整備、施設等への適切な誘導のための案内標示やサインの設置。

3)人を思いやる精神に支えられた地域社会の実現

人々の福祉意識の向上、高齢者や障害者等に対する認識と理解を深め、支援の充実。また、福祉活動やボランティア活動の活性化をはかり、ハード、ソフト両面で整備された地域社会の実現。

「和泉砂川駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」：平成14年11月

- ・みんなが歩きやすいみち、語らいの空間としてのみちのネットワークを確立します。
- ・みんなが利用しやすく、サービスに長けた公共交通機関を目指します。
- ・みんなの思いやりと、助け合いの気持ちを育みます。

凡例

- 主要施設
- 公共施設
- 金融機関、大型店舗

凡例

- 重点整備地区境界線

凡例

- 特定道路
- 準特定道路

(特定事業の概要)

特定事業	経路等	特定事業の概要
特定経路	府道和泉砂川停車場線	・迷惑駐車・駐輪の排除に取り組む。 ・不法路上占用物の撤去を促す。 ・市民のバリアフリーに対する認識の向上を図る。 ・劣化した路面標示を補修する。 ・駅前広場の設置および都市計画道路幅での整備の検討を大阪府、公安委員会、JR、市等で都市計画の変更も含めて実現に向けて短期のうちに検討し、早期の整備を目指す。整備が不可能に至った場合は、現況道路幅内で特定経路としての歩道幅員を確保し、最低限のバリアフリー化に努める。
	市道信達樽井線(市役所前)	・植栽や雑草の手入れを行う ・歩道の段差解消(横断歩道の切下げ部の改善)を行う。 ・車止めをラバー素材等への変更も含め改善策を検討する。 ・誘導ブロックを適切な位置に設置し、道路標示の設置も行う。
旅客施設	和泉砂川駅	・職員のサービス向上に引続き全社的に取り組む。種々の研修等を実施し、バリアフリーに対する認識を高揚する。 ・券売機の点字・ひらがな表記の位置を変更する。 ・ホームに、待合室を設置する。 ・改札の幅を車椅子が通行可能な幅員に変更する。 ・階段の手すりの設置位置の改善を行う。 ・エレベーターを設置する。障害者用トイレの設置する。 ・誘導ブロックの材料の統一化、設置箇所などを改善する。 ・改札付近もしくはホームに電光掲示案内板の設置検討する。 ・近接する踏切は、都市計画の変更や駅前広場整備とともに検討する。
	バス	・バリアフリーに対する社員教育の充実を図る。 ・事業者がメーカーと一体になって、使いやすいバスの検討。(泉南市コミュニティバス) ・現状においても路線図の更新等を行っているが、今後もよりわかりやすく親しみのもてる交通システムにしていく。(路線バス) ・移動円滑化の促進に関する基本方針に沿った目標に向けて努力する。

④泉南市福祉のまちづくり重点地区整備計画：平成 9 年 3 月

（重点整備地区）

市道信達樽井線を軸として、ＪＲ和泉砂川駅から市役所を経て、府道堺阪南線（旧国道 26 号）に至る約 114ha の地域。

（整備方針）

- ・ 誰もが円滑に利用できる生活利便施設の整備の推進
- ・ 訪れやすく、移動しやすい快適なまちづくり
- ・ 人が集い、憩える魅力ある空間の創出
- ・ モデル施設としての公共施設の整備の推進
- ・ 人を思いやる精神に支えられた地域社会の実現

（整備計画）

・ 建築物の整備計画

重点整備地区の調査対象建築物が大阪府福祉のまちづくり条例の整備基準に適合するための改善整備については、短期（3 年以内）、中期（4 年～10 年）、長期（10 年以降）の整備時期を設定し実施する。

・ 道路の整備計画

- 歩道整備による安全な移動空間の整備、交差点やバス停留所におけるポケットパークの設置、植栽やベンチなどの設置。
- 移動の妨げとなる電柱の撤去、移設。
- 見やすくわかりやすい案内表示、誘導サインの設置。
- 第 1 期(3 年～5 年)、第 1 期(5 年～10 年)、第 1 期(10 年～20 年)に分けた整備。

・ ソフト施策による整備計画

- 住民の意識の向上
- ボランティア活動等への支援
- 学校教育での取り組み
- ヘルパー等の人材育成
- 介護機器等の貸与
- 公共交通の充実
- 地域社会の中での交流活動の活性化

⑤第3次泉南市障がい者計画及び第3期泉南市障害福祉計画：平成24年3月

<計画の基本理念>

自分らしさを大切に！安心して暮らせるまち せんなん
いきいきと！みんな一緒に

◆ノーマライゼーション

障害のある人が社会の一員として、障害のない人と同等に生活し、活動する社会をめざすという考え方

◆リハビリテーション

すべてのライフステージに応じて主体性、自立性、自由という人間本体の生き方の回復、獲得をめざすという考え方

◆インクルージョン

必要な援助や支援を受けて、一人ひとりのニーズに合った生活を送ることができるよう、障害のある人を地域社会の中で包み込みともに支えていくという考え方

<施策の展開：安全・安心に暮らせるまちづくりの推進>

◎生活環境の整備

施策・事業	内 容
1. 道路・交通環境の整備	市民の協力による環境改善の推進 ・介助等の支援が必要な場所や施設等について、市民の協力によりまちづくり点検を必要に応じて検討します。 ・歩道への不法駐輪・駐車、商品のはみ出しなど、市民に働きかけ、歩道等の通行を妨げる行為の解消を行います。 道路・交通環境の向上 ・南海樽井駅等のバリアフリー基本構想を策定し、駅舎のバリアフリー化を推進します。 ・障害のある人が通行しやすいように、交通安全施設の整備について関係機関に要請します。
2. 公共・公益施設等のバリアフリー化の進	建築物の整備・改善 ・「大阪府福祉のまちづくり条例」により、特定施設として位置づけられた新設建築物については、基準に合致するように、設計の指導、現場の検査を継続して実施します。 公園の整備・改修 ・今後も障害のある人をはじめ誰もが利用しやすい公園の整備・改善に努めます。